訓子府の未来を担う子どもたち

平成21年生まれ

丑年（うしどし） 今年の主役は私たち

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

今年は「丑年（うしどし）」です。未来を担う子どもたちの中で丑年生まれの方を紹介します。

松本　春人（はると）さん（居小5年）

昨年は、みんなで力を合わせてがんばった運動会が、思い出に残っています。

昨年は、学芸会が中止になったので、今年は開催できたら器楽演奏をがんばりたいです。

原口　結依（ゆい）さん（居小5年）

昨年は運動会の玉入れで、籠に玉がたくさん入るようにがんばったことが、思い出に残っています。

今年の運動会では、昨年中止になった綱引きをがんばりたいです。

長岡　胡桃（くるみ）さん（居小5年）

昨年は、一生懸命がんばって走った運動会のリレーが、一番思い出に残っています。

今年は、漢字の練習をがんばって、もっときれいに書けるようになりたいです。

坂本　悠（はる）さん（訓小5年）

昨年の思い出は、家族で常呂漁港で釣りをしたことです。

今年は6年生になるので、5年生から始めたサッカー少年団での試合で勝てるようにがんばりたいです。

すべての町民にやさしい町づくり

訓子府町長
菊池　一春

皆さま、あけましておめでとうございます。

世界的規模の災害とも言える「コロナ禍」が全国民の「日常」を奪い、国民全体が不自由で漠然とした不安感の中、新しい生活様式を模索しながら、国民全体で助け合い、知恵を出し合って生活を続けております。

訓子府町においても、昨年は開町100周年・町制施行70年を記念する節目の年でありました。

さまざまな事業を計画し、町民全体でこの記念する年をお祝いする予定でありましたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため、そのほとんどの事業を中止するという苦渋の決断を強いられました。

そんな中、ソーシャルディスタンスを保ち、ご招待させていただく皆さまにもご理解とご協力いただき、さまざまな感染予防対策を講じ、「訓子府町開町100周年・町制施行70年記念式典」を11月1日に挙行し、先人の偉業と訓子府町の歴史を後世に伝えられたこと、未来への決意を伝えられたことは、一つの心の救いとなりました。

全世界における新型コロナウイルス感染症のまん延が収束し、皆さまに元の日常が戻ってくることを心の底から祈念するものであります。

このような時勢の中、今年訓子府町では困難に負けることなく、「新消防庁舎の建設」、「光ファイバ網の整備」、「ギガスクール構想の具現化」、「高知県津野町との姉妹町締結20周年記念事業」、「新訓子府町史の編さん」など、さまざまな新事業に着手し、さらなる飛躍をめざして進んでまいります。

私の町長としての4期目の折り返し地点を迎え、初心を忘れることなく、私が掲げた政策目標であります「すべての町民にやさしい町づくり、みんなで創る訓子府の元気」の歩みを止めることなく、希望ある未来に向けて、持てる力の限りを尽くします。

今年も訓子府町は「町民こそが主役」、「すべての町民にやさしい町づくり」をめざして、町民の皆さまの参加とお力添えをいただきながら、理想の町づくりへまい進してまいります。

沢田　翼（つばさ）さん（訓小5年）

昨年一番思い出に残っていることは、宿泊研修で友だちとフォトラリーを楽しんだことです。

今年は、6年生になるので、今まで以上に勉強を一生懸命がんばりたいです。

井幡　莉香（りこ）さん（訓小5年）

昨年は、宿泊研修でフォトラリーを楽しんだことが思い出に残っています。

今年は、授業中など、みんなの前で積極的に意見を言えるようにがんばりたいです。

上原　優人（ゆうと）さん（訓小5年）

昨年は、宿泊研修で友だちとフォトラリーを楽しんだことが、思い出に残っています。

今年は修学旅行を楽しめるように、新型コロナウイルス対策をしっかり行いたいです。

大橋ひかりさん（訓小5年）

昨年は、みんなで宿泊研修に行ったことが思い出に残っています。

今年は、3年生から続けているスクールバンドで、楽器をもっと上手に演奏できるようにがんばりたいです。

濱野　大悟（だいご）さん（訓小5年）

昨年は、野球少年団の大会で優勝したことと、宿泊研修に行ったことが思い出に残っています。

今年は、野球少年団でレギュラーになることと、珠算で上の級をめざしてがんばります。

高山　菜月（なつき）さん（訓小5年）

昨年の思い出は、運動会のよさこいソーランと、宿泊研修です。

昨年は、新型コロナウイルスの影響で学芸会が中止になったので、今年は開催できるとうれしいです。

信頼される開かれた議会をめざして

訓子府町議会
議長
須河　徹

明けましておめでとうございます。

日ごろから町議会に対するご理解とご支援に対し深く感謝申し上げます。

昨年は、世界中が新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年となりました。

本町においても、学校や公共施設の長期にわたる閉鎖、ふるさとまつりの中止など、いつもと違う日常を過ごすことを余儀なくされました。こうした中、規模は縮小されましたが開町100周年・町制施行70年記念式典が挙行され、皆さまとお祝いできたことはうれしく思います。

さて、基幹産業である農業では、昨冬は積雪が少なく土壌凍結により、植え付け作業は遅れたものの、その後の天候に恵まれ生育は順調に進みました。7月以降は降水量が少なく、干ばつ気味で推移したものの、近年に見られる気象災害などもなく、各作物とも豊作傾向となり一安心しているところです。

本町の財政状況につきましては、財政健全化の成果により改善されていますが、人口減の影響で依存財源である地方交付税が減少見込みであり、また、スポーツセンターなど大型の事業で借り入れた起債の償還が始まり、さらに今年は消防庁舎が建設されるなど、今後も大型投資が予定されています。

議会としては、行政運営を監視する役割もあり、その責務・役割を果たし、健全な財政運営に寄与してまいります。

また、昨年はコロナ禍で研修活動が制限される中、「議員定数と報酬」をテーマに自主研修会の開催、町内会・実践会連協や各青年団体との意見交換会を実施するなど、議会基本条例に掲げる「町民と向き合い信頼される開かれた議会」をめざし、町民の皆さまの意見を町政に反映させることができるよう努めています。

今後とも、町議会に対し皆さまのより一層のご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、コロナ禍を乗り越え、皆さまにとって、より素晴らしい年でありますように心よりご祈念申し上げます。